



北村 あや子 区政ニュース

国民健康保険料は値上げではなく引き下げを



申入れを行う里吉ゆみ都議と区議

1月15日、飯田橋にある区政会館にて日本共産党都委員会、日本共産党都議団、各区議団共同で特別区長会に対し、高すぎる国民健康保険料引下げのため、あらゆる努力を求める申入れを行いました。今年度で終了予定の納付金への激変緩和策の継続拡充、18歳までの均等割廃止など9項目を要望しました。

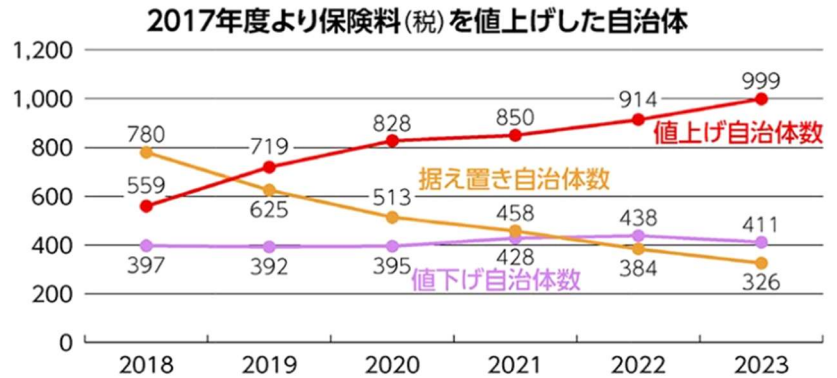
均等割に関しては区長会も問題意識を持っていて、昨年11月、厚生労働大臣に提言をしています。区長会としても更に発信をしてほしいと思います。また、基礎自治体・荒川区も国保料引き下げのためにあらゆる努力をするべきです。

6年間で999自治体が値上げ

全国で見ると、この6年で999もの自治体が保険料の値上げを行っています。23区では2021年度に限り「医療分・支援金分」を1,213円引き下げたものの、介護分の値上げに伴い保険料合計では値上げとなっています。

自営業者やフリーランスなどが主に加入する国民健康保険。昨年から続く物価高騰で暮らしは非常に厳しくなっています。保険料は、値上げでなく引き下げを。

荒川区国民健康保険運営協議会は3月4日に行われる予定です。皆様のご意見をお寄せください。



給与年取400万円・4人世帯(30歳代の夫婦+小学生2人、自宅・土地等の資産なし)をモデル世帯として保険料(税)を計算し、2017年度以後の増減を調査。しんぶん赤旗1月17日号より

産前産後期間相当分の国民健康保険料を免除 今年1月から 子育て世帯の負担軽減・次世代育成支援のため、産前産後期間相当分の国民健康保険料を免除する制度がスタート。国民健康保険料の所得割額と均等割額のうち、産前産後期間相当分が免除されます。2023年11月1日以降に出産予定または出産した方が対象です。届け出が必要です。

【問合せ・届け出先】国保年金課国保資格係 TEL 03-3802-3111(内線 2373~2376)

社会保険では同様の免除制度が2014年から導入されています。国民健康保険での導入が遅すぎたと思います。なお、生まれてくる赤ちゃんには、国保独特の「均等割り」が引き続きかかります。人頭税のような均等割りは廃止すべきです。子どもの均等割りを減免する自治体もあります。

都営住宅の2月定期募集 2月1日から

申込書配布期間:2月1日(木)~2月9日(金)
配布場所:区役所1階総合受付、各区民事務所など
郵送申込期限:2月16日(金)必着
オンライン申込期限:2月16日(金)23時59分まで
分からないことなどお気軽にお尋ねください。



発行:日本共産党議員団 TEL:3802-4627 FAX:3806-9246

e-mail:arajcp@tcn-catv.ne.jp

<北村あや子事務所> 荒川区西尾久2-4-8-1階

TEL&FAX:3894-6668



委員会でガソリン税の見直しを求める陳情採択 トリガー条項発動、消費税との二重課税解消を

区議会にガソリン税の見直しを求める陳情が出されました。1月12日の総務・企画委員会で陳情審査が行われ、4対3で採択されました(日本共産党荒川区議団は採択)。今後、本会議に送られます。

2022年2月以降「物価高騰対策」の一環として政府は石油元売会社へ補助金を交付して小売価格を抑制するとしていましたが、末端のガソリン価格軽減に有効かどうか疑問視されています。しかもその補助金(予算額6.2兆円)がどの企業にいくら支出されたかは公表されていません。ガソリン価格がどの程度抑えられたのかも示されていません。そして石油元売り大手エネオスHD、出光興産、コスモHD3社は純利益を2020年度の2348億円から2022年度は4653億円へと倍化させています。価格抑制のための税金投入が企業利益に回ったのではないかと疑念…。補助金の



ありかたについての検証が必要です。

物価高騰で個人消費者や事業者が苦しむ中、トリガー条項発動と二重課税の解消で、最終消費者への直接的な支援が必要だと思います。

また、物価高騰はガソリンだけではなく、消費税の減税が求められます。ご意見をお寄せください。

【トリガー条項とは】

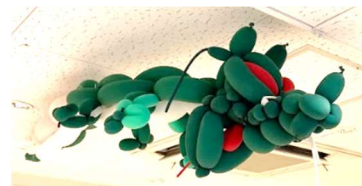
ガソリン価格が高騰したときにガソリン税の一部を一時的に免除して消費者の負担を抑える仕組み。2010年に当時の民主党政権のときに導入されました。全国平均のガソリンの小売価格が1ℓあたり160円を3か月連続で超えた場合、自動的に減税する仕組みです。一方、平均の小売価格が3か月連続で130円を下回った場合は元に戻ります。政府は、2011年の東日本大震災のあと、復興財源を確保するためこの「トリガー条項」を凍結し、現在そのままです。

【ガソリンの二重課税とは】

ガソリンには、「ガソリン税(53.8円/ℓ)」と「石油石炭税(2.8円/ℓ)」の計56.6円/ℓの税金に加え、購入価格に対し10%の消費税もかかります。これが「二重課税」と言われ、今回の陳情は解消を求めています。

障がい者地域生活支援施設スクラムあらかわを視察

福祉・区民生活委員会は1月12日、障がい者福祉サービスと生活支援事業を行う「スクラムあらかわ」を視察しました。知的障害者のグループホーム(定員:男性10、女性8)、短期入所(知的、身体、精神)、施設入浴、日中一時支援(トワイライト)、移動支援事業などを行う施設です。



職員さん作成、龍のバルーンアート

グループホーム 障害がある方が誰もが利用できるということから、入所期限が3年となっています。せっかくスクラムあらかわで自立した生活が送れるようになって、入居期限が過ぎた

あとの行き先が少なく、再び自宅へ戻ってしまうということが多くあります。引き続き、障がい者のグループホーム拡充を求めます。

入浴事業 主に身体、知的障害の方が利用する機械入浴は1日4人枠。稼働率は80~88.8%とのことでした。また、一般入浴と夕食の提供を行う「日中一時支援(トワイライト)」も人気です。常時13人くらいが利用していて、障害の程度も異なるためトラブルもあるそうです。安心・安全に利用していただくための人手が不足しているとのことでした。



ニーズの高い機械入浴

だれもが普通に暮らせる地域社会づくり、環境づくりが加速するよう頑張ります。

日時: **2024年2月16日(金)** 18:30~20:00

会場: **北村あや子事務所(西尾久2-4-8)**

TEL&FAX: 03-3894-6668 **要予約**

日々の生活、仕事、相続...ひとりで悩まずに相談を。

弁護士と北村がお話をうかがいます。

生活相談はいつでもお気軽にどうぞ。

